



日本赤十字社 「人間を救うのは、人間だ。」

奉仕者の皆さまへ

平素から赤十字事業の推進に多大なる御理解をいただいておりますことに、深く感謝いたします。

日本赤十字社は、国内および海外における災害救護活動を中心に、赤十字病院をはじめとした医療事業、看護師等の育成、献血及び輸血用血液の供給、地域社会における赤十字思想の普及や、赤十字活動の担い手となる赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成などのさまざまな活動を、多くの皆さま方に支えられ展開しております。

東日本大震災発生から13年、熊本地震の発生から8年の月日が経過しましたが、これまで日本赤十字社は、被災された皆さまの気持ちに寄り添いながら活動を続けてまいりました。これからも息の長い活動を続けてまいります。

本年は元日に能登半島地震により、大きな人的・物的被害が発生しました。その被災により避難生活を余儀なくされている方々が多くおられます。また、海外では、自然災害のほかにも、武力紛争で多くの難民や避難民が発生し、人道的支援が必要となっております。

国内外で起こるこうした様々な災害等に対し、医療救護活動のために職員やボランティアを派遣しております。このような活動は、会員をはじめとする多くの皆さまからお寄せいただく貴重な活動資金（会費）なくしては成り立ちません。

本年も、日本赤十字社は「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」という使命のもと、人道の実現のために、国内および海外で展開しているさまざまな事業をいっそう充実させてまいります。

会員制度を組織基盤としている日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」と定め、地域の皆さまに赤十字の理念や活動を広く御理解いただくとともに、活動資金（会費）募集を実施いたしております。

つきましては、本運動の趣旨を御理解いただきまして、御多忙のところ誠に恐縮に存じますが、地域の皆さまへの会員募集の展開および活動資金（会費）のとりまとめにつきまして、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月

日本赤十字社川崎市地区本部

地区本部長 福田 紀彦

